

2005年 **3月6日**(日)  
14:00 ~ 16:30(13:30開場)



赤ん坊に乳をふくませる母親  
(ガザ地区ジャバリア難民キャンプ、撮影・古居みずえ)  
『パレスチナ 瓦礫の中の女たち』(岩波書店、2004)より

### 講師 **古居みずえ** (Furui Mizue)

1948年、島根県生まれ。難病を患い闘病生活の後、写真展でパレスチナ問題に出会う。会社員生活にピリオドをうち、1988年からパレスチナ取材を始める。イスラエル占領下に生きるパレスチナの人々、特に女性たちの生きざま、そしてイスラム社会に生きる女性たちの生活を撮り続ける。ビデオカメラによる取材も開始。NHKなどのTV番組に発表。主な著書に、『インティファダの女性たち』(彩流社)、『匿されしアジア ビデオジャーナリストの現場から』(風媒社)。写真展『抵抗の大地から パレスチナの女たち』を発表。

参加費：1000円(資料代込み)  
平和を考える会賛助会員は800円  
中高生は500円、小学生以下無料

主催  
**パレスチナの平和を  
考える会**

[www.palestine-forum.org](http://www.palestine-forum.org)

連絡先

tel.090-9273-4316 fax.06-6694-9134

email.ysige@hotmail.com

# 軍事占領下に生きる女性と子ども達

(仮題)

フリージャーナリスト古居みずえさんのパレスチナ現地報告

長年、パレスチナに生きる人びと、とりわけ女性と子どもに焦点をあてて取材をされてきた古居みずえさんに激動のパレスチナ情勢を映像を交えて報告していただきます。ぜひ、ご参加ください。

\* \* \*

自由はどこにあるの？

それは空？

空港は壊されました。

自由、それは海にあるの？

海は包囲されています。

自由、それは土地にあるの？

土地は壁で囲まれています。

世界は自由を楽しんでいます。

でも私たち、子どもたちは  
自由を知らないのです。

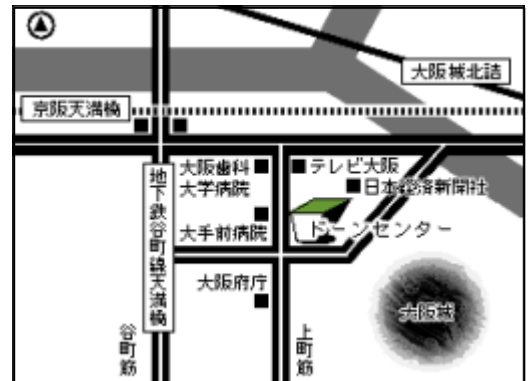
(ガザ地区ラファの難民キャンプで暮らす14歳の少女、ダラルルの詩)

会場

**ドーンセンター**

(大阪府立女性総合センター)

TEL.06-6910-8500、中央区大手前1-3-49



行き方

・京阪天満橋駅・地下鉄谷町線天満橋駅:1番出口から東へ350m

・JR東西線大阪城北詰駅2号出入口から西へ550m